

令和2年度 事業経過報告（概要）

日本技術士会栃木県支部が発足して9年が過ぎました。この間、数多くの会員の皆様の努力により、着実な活動を実践してきたが、特に、令和2年度はコロナ禍の影響で、会員のための講演会、CPD研修のほか、地域社会貢献活動としての理科教育活動や中小企業支援活動が十分に行えなかった。今年の反省点を踏まえ、今後の活動を発展的に行うために、以下、各委員会の活動概要を報告する。

《各委員会報告》

1. **総務委員会**：6月6日年次大会（全体会合）はコロナ禍のため中止。年次大会に併せて計画した講演会、報告会のほか、第一次、二次試験合格者祝賀会も中止。支部長を含め15名で構成される役員会は10回開催した。
2. **企画・研修委員会**：9月に見学会（東洋測量設計㈱新社屋、環境省補助金活用）、10月にCPD研修会（講師：栃木県真岡土木事務所長・工博・技術士 松本茂氏）を開催した。11月の「秋の科学技術講演会」はコロナ禍のため中止。12月期講演会は、「いちかいプロジェクトメンバーによる講演会」を支部会員5名（井本郁子氏、徳江義宏氏、水野潤氏、西谷元則氏、松原猛氏）で行った。令和3年2月の「技術士を志す方への情報提供講座」はコロナ禍のため中止。
3. **企業支援委員会**：コロナ禍のため、業務斡旋ができなかった。しかし、補助金審査に4回、企業支援会議に2回参加した。
4. **広報委員会**：コロナ禍による支部活動の停滞により、活動を報告する会報を休刊した。しかし、会員と対外広報として、支部ホームページを更新・管理を行った。
5. **国際委員会**：これまで浙江省科技訪日団（アジア青少年サイエンス交流事業：さくらサイエンスプラン）や浙江省の企業経営等を招聘し、県内企業や宇都宮大学を訪問するほか、セミナー開催、日光地区の見学等の技術交流を行ってきた。また、12回にわたる訪中団を浙江省に派遣し、現地見学による科技交流中心と技術交流を深めてきたが、今年はコロナ禍のため中止となった。
6. **産学技術交流小委員会**：企業支援第2回コラボレーションフェアは中止（宇大主催施）、鹿沼市中小企業支援協議会の委員として1名推薦登録し3回の協議会に参加。鹿沼市の中小企業支援事業に会員3名を派遣した。また、県産業振興ネットワークに参加した。
7. **地域支援小委員会**：フードバレーとちぎ推進協議会に参画、余笹川流域連携ネットワーク活動（9月）に参加した。
8. **環境支援小委員会(科学技術・理科教育小委員会含む)**：サイエンスカフェ（理科教育の一環とした5月フェスタ my 宇都宮、9月エンジョイカガク帝京大、1月まちびあ祭り）は中止。グリーンインフラジャパン（11月5日～8日）はオンラインで参加。「ECO テック&ライフとちぎ2020」（12月5日）では、地域創生を目的とした「いちかい浮島プロジェクト」（テーマは、廃校になったプールを活用したキンブナ養殖）及び「里山資源を生かした人工浮島による生態系の保全」を出展した。以上

公益社団法人日本技術士会栃木県支部令和3年度活動方針について

支部長 黒須重富

栃木県支部の発足以来10年という節目の年を迎えました。この間、数多くの会員の皆様のご努力により、着実な支部活動を実践して参りました。今年度は、この10年間で振り返りこの間の実績を記念誌として取りまとめます。このための記念誌編纂委員会を新たに設置し、来年度の発刊を目指します。記念誌編纂が、新たな第一歩となるよう幹事一同力を併せて、以下の理念と基本方針のもとに支部活動を展開して参ります。

I. 公益社団法人日本技術士会の目的に沿った支部活動の理念

本支部は、技術士の品位の保持、資質の向上及び業務の推進改善を図るため、技術士の研修並びに会員の指導及び連絡に関する業務を行い、もって科学技術の向上及び国民経済の発展並びに国際交流の推進に寄与し、更には広く社会に貢献する支部活動を理念とする。

II. 県支部活動方針

- ① 栃木県支部活動9年間の実績を踏まえ、“会員の顔が見える会”を旗印として、会員の拡大による支部の強化とともに、コロナ禍の下でも会員及び協賛団体のために、WEB会議方式などを採用しながら、CPD講座、見学会、研修会を充実させる。また、今年は支部活動10年の節目として記念誌を編集する。
- ② “地域の人と文化と技術をつなぐ架け橋”となるよう市町等が抱える課題に対して社会貢献活動を展開する。特に、業務受託3年目となる市貝プロジェクトにおける政策提言や昨年度コロナ過で中止した宇都宮市・帝京大学等での理科教育活動を再開することで、地域社会と架け橋になる事業を実践する。また、防災支援小委員会を新たに設置し、関東甲信支部との情報共有を目指す。
- ③ 中小企業を支援する業務の拡大を図る。そのために、金融機関や企業をサポートする関係機関に、支部活動として技術士業務の案内や支援内容を紹介するとともに、依頼された業務の質の向上に努める。
- ④ 中国浙江省科技交流和人材服務中心や浙江同濟科技職業学院とは、コロナ過で技術交流が中断したが、コロナウィルスの感染状況を見極めながら、再開を目指す。
- ⑤ 以上の方針に沿う活動は、Speedy(スピード感)、Strategic(戦略性)、Sensitive(感受性)、with Smile(笑顔)の4Sに心がける。

以 上

栃木県支部 令和3年度 各委員会別事業計画

委員会名 (小委員会)	R3 年度計画	R2 年度実績
総務委員会	1) 支部活動を円滑に運営する取組 ・関東甲信 8 県支部との情報交換・ 2) 会員・準会員の参加機会の拡充 ・年次大会・講演会・報告会・新合格者歓迎会の開催 ・会員・準会員に対する積極的な広報・協力依頼の展開 ・新合格者に対する技術士会加入案内 3) 協賛団体の積極的な拡大	1) 支部活動を円滑に運営する取組 ・関東甲信 8 県支部会議中止 ・年次大会・講演会・報告会・新合格者歓迎会中止 ・会員・準会員・協賛団体名簿構築 ・会計処理会議 (1 回) 3) 協賛団体の積極的な拡大 (20 社)
企画・研修委員会	1) 技術士を志す方への情報提供講座：令和 4 年 2 月中旬 (予定) 2) 見学会等：開催日は適宜、年 1 回以上 (予定) 3) 公開講演会 (秋の科学技術講演会)：令和 3 年 11 月 (予定) 4) CPD 研修会等の開催：開催は年 3～4 回 (予定)、開催日は令和 3 年 7 月～令和 4 年 1 月の土曜日を予定 5) 「令和 3 年度 12 期講演会等」開催は令和 3 年 12 月 11 日 (第 2 土曜日予定)	1) 技術士を志す方への情報提供講座：令和 3 年 2 月開催中止 2) 見学会等：講演「環境にやさしい新社屋について」、見学会：東洋測量設計(株)新社屋 (令和 2 年 9 月 17 日 (木))、講師：(株)安藤設計 1 級建築士 高久晋作氏、参加者 19 名 3) 秋の科学技術講演会：中止 4) CPD 研修会：第 1 回 演題「インフラ・チューニング：より効果的な社会資本ストックに向けて～いま関心の高まる「インフラツーリズム(観光)」「豪雨・治水対策」を事例として～」講師：真岡土木事務所 所長, 工博、技術士 松本茂氏 (令和 2 年 10 月 10 日 (土)) 参加者 38 名 5) 「令和 2 年度 12 月期講演会」：演題「-いちかい浮島-里山資源を生かした「人工浮島による生態系保存の試み」講師：栃木県支部会員、井本郁子氏、徳江義弘氏、水野潤氏、西谷元則氏、松原猛氏 (令和 2 年 12 月 12 日 (土)) 参加者 29 名、交流会は中止
広報委員会	1) 会報第 17 号を 8 月に発刊 2) 会報第 18 号を 1 月に発刊 3) ホームページ更新・管理 4) 各種イベント参加 5) 支部活動の周知	1) 会報第 17 号休刊 2) 会報第 18 号休刊 3) ホームページ更新・管理 4) 各種イベント参加 5) 支部活動の周知

		6) 会員拡大の取り組み活動 7) 研究会募集活動 8) 内外への情報発信及び講演会等のリモート方法の検討 9) 支部創設 10 周年記念誌編集	6) 会員拡大の取り組み活動 7) 研究会募集活動
企業支援委員会	中小企業支援小委員会	1) 企業支援委員会 ・ 栃木産業振興ネットワーク活動 ・ 鹿沼産業支援協議会活動 2) 業務開拓 ・ 技術士 PR 活動 ・ 県産業技術センターとの交流促進 ・ 中小企業支援団体との交流促進 ・ 地銀融資における事業性評価参入 ・ 主要市役所への技術支援 P R	1) 企業支援委員会 ・ 企業支援役員会 (9 月 12 日) ・ 鹿沼市産業支援協議会 (7 月 1 日) 2) 業務開拓 ・ 県産業振興センターよろず支援センターとの業務打ち合わせ (9/1) ・ 栃木産業振興ネットワーク R2 年度推進会議 (12/9) 3) 交流会協力 ・ 宇都宮大学企業交流会 中止
	産学技術交流小委員会 (前・地域企業支援小委員会)	1) 金融機関主催、大学主催物作りマッチング会にブース出展 (未定) 2) 宇都宮大学企業交流会 (未定)	1) 宇都宮大学研究室情報収集
国際委員会		1) 委員会 (4 半期毎に開催) 2) 浙江省科技訪日団来県 (時期: 未定) 3) 浙江省訪問団 (時期: 未定) 4) 第 50 回日韓技術士国際会議 (時期: 秋頃開催予定)	1) 6 月委員会を開催。 新コロナ感染拡大の影響により当面、活動休止。 2) 浙江省科技訪日団来県 (2020 さくらサイエンス事業: 中止) 3) 浙江省訪問 (中止) 4) 第 50 回日韓技術士国際会議 (1 年程度延期)

地域社会貢献委員会	科学技術・理科教育小委員会	<ul style="list-style-type: none"> 1) 定例会 4回／年開催 2) サイエンスカフェ事業（小中学校理科教育支援等展示会出展） <ul style="list-style-type: none"> ・5月フェスタ my 宇都宮 2019 出展 ・9月エンジョイカガク出展（帝京大） ・まちびあ祭り出展 3) 12月 ECO テック&ライフとちぎ 2021 出展 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 定例会の開催すべて中止 2) サイエンスカフェ事業（小中学校理科教育支援等展示会出展）すべてに事業中止 <ul style="list-style-type: none"> ・5月フェスタ my 宇都宮 2020 開催中止 ・9月エンジョイカガク出展（帝京大）開催中止 ・まちびあ祭り規模縮小により出展中止 3) 12月 ECO テック&ライフとちぎ 2020 出展 4) 環境見学会中止 5) いちかい浮島プロジェクトの継続調査及びミニ浮島ワークショップ開催
	環境支援小委員会	<ul style="list-style-type: none"> 4) 環境見学会開催 5) いちかい浮島プロジェクトの継続調査及び浮島ブランド化の検討 	
	地域支援小委員会	<ul style="list-style-type: none"> 1) フードバレーとちぎ推進協議会への活動支援 2) いちかい浮島プロジェクト事業 3) 関東甲信県支部防災連絡会議（9月、3月） 4) NPO 法人栃木県防災士会への活動支援 5) 余笹川流域連携ネットワーク活動への参画（令和3年9月26日） 6) よささウォーク 2021(第19回)への活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 1) フードバレーとちぎ推進協議会へ活動支援 2) いちかい浮島プロジェクト事業 3) NPO 法人栃木県防災士会への活動支援 4) 余笹川連携ネットワーク活動への参画（令和2年9月30日） 5) よささウォーク 2020(第18回)への活動支援

令和3年度 収支計画

資料4

資料4

部門	委員会名	管理内容	項目・内容	R3年度予算	R2年度実績	R2年度予算	項目番号	
				金額	金額	金額		
総務部門	総務委員会	役員会運営管理 情報管理 文書管理 支部運営規則管理 まちびあ管理	旅費交通費:本部会議	314,500	68,500	547,500	11	
			通信費(Zoom導入費)	100,000	50,062	10,000	12	
			消耗品	26,000	1,100	26,000	13	
			関東支部との会議費	10,000	0	10,000	14	
			e banking振込料	20,000	19,800	20,000	15	
			事務所賃貸料	40,000	37,560	40,000	16	
			その他(工事費等)	10,000	0	10,000	17	
			雑費(保険料、手数料等)	4,000	110	4,000	18	
	小計	524,500	177,132	667,500				
	企画・研修委員会	対外情報発信 会員技術研修 協賛団体技術支援	* 情報提供講座費	15,000		15,000	21	
* 講演会費(CPD対象)			150,000	94,286	150,000	22		
* 講演会費(CPD対象)			110,000	128,810	110,000	23		
雑費	50,000	10,800	50,000	24				
小計	325,000	233,896	325,000					
広報委員会	機関紙編集管理 印刷製本管理 発送名簿管理 10年記念誌編纂	会報印刷費	60,000		60,000	31		
		会報郵送費	30,000		30,000	32		
		手数料、税	10,000		10,000	33		
印刷製本	800,000							
小計	900,000	0	100,000					
事業部門	企業支援委員会	中小企業支援 産学技術交流	関係団体会費	22,500	22,500	22,500	41	
			本部、他県との交流費	5,000		5,000	42	
			技術士業務の開拓・調査費	5,000		5,000	43	
			中小企業訪問費	5,000		5,000	44	
			雑費	0		0	45	
小計	37,500	22,500	37,500					
公益部門	国際委員会	ものづくり技術交流 建設技術交流	国際交流協会年会費	10,000	10,000	10,000	61	
			さくらサイエンス	40,000		40,000	62	
			小計	50,000	10,000	50,000		
	地域社会貢献委員会	科学技術・理科教育小委員会	* 科学教育(サイエンスカフェ) フェスタmy宇都宮(5月に中止) エンジョイカガク まちびあ祭り	* 出展材料費等	215,000		215,000	71
				* 対外情報発信	18,000		18,000	72
				* 対外情報発信	18,000		18,000	73
				* 対外情報発信	25,000		25,000	73
				小計	276,000	0	276,000	
		環境小委員会	とちの環境民会議 ECOテック&ライブ出展 再生可能エネルギー	とちの環境民会議 会費	5,000	5,000	5,000	81
				* ECOテック&ライブ2021出展費等	108,000	30,250	108,000	82
				再生可能エネルギー調査研究費	15,000		15,000	83
		小計	128,000	35,250	128,000	84		
		地域振興小委員会	市貝プロジェクト 関東甲信防災交流事業 市貝プロジェクト 防災支援(防災セミナー) 余笹ネットワーク	市貝プロジェクト材料費等	0	0	20,000	85
				雑費(新規)	50,000			
				受託事業	1,400,000	1,200,140	1,600,000	86
* 対外情報発信	10,000			0	10,000	87		
雑費	10,000	10,000	10,000					
小計	1,470,000	1,210,140	1,640,000					
支出合計				3,711,000	1,688,918	3,224,000		
協賛団体会費				200,000	200,000	200,000	91	
宇都宮市・帝京大補助金				215,000	0	215,000		
本部補助費				816,000	285,576	809,000		
会員人数対応				362,000	162,920	355,000	92	
* 対外情報発信費補助				194,000	32,750	194,000	93	
* CPD他補助				260,000	89,906	260,000	94	
雑収入				800,000	186,623	0		
利子				0	13	0	96	
雑収入(10年記念誌の広告収入)				400,000	186,610			
繰入金(10年記念誌印刷)				400,000				
事業収入				1,680,000	1,698,000	2,000,000		
受託事業				1,400,000	1,598,000	1,600,000		
事業収入(CPD会費等)				200,000	100,000	250,000	97	
業務幹旋費等収入				80,000		150,000	98	
収入合計				3,711,000	2,370,199	3,224,000		
収入一支出				0	681,281	0		
前期繰越額				2,262,780	1,581,499	1,490,207	90	
次期繰越額				2,262,780	2,262,780	1,581,499		

* 印のものは使用分の費用が本部より補助される項目

監査報告書

令和3年5月29日、宇都宮市まちづくりセンター内において令和2年度の会計監査を実施致しました。

現金、通帳、領収書等の関係書類を確認した結果、会計は適正に処理されていましたことをここに報告いたします。

令和3年5月29日

監査員 井本郁子 

監査員 小川正順 